

国語科学習課題の取り組み方の説明

5月11日（月）の課題について

特別な読み方をする漢字の一覧です。今ではあまり使われなくなった言葉も含まれていますが、日本の伝統や文化に根ざした言葉も多く含まれています。この機会にぜひ、読めるように、また、できれば書けるようにして、自分の知っている言葉、使える言葉の中に入れてほしいと思います。

5月15日（金）の課題について

小学校の時に学んだ「やまなし」を書いた宮沢賢治の作品です。この物語は、そう長くないし、ストーリーはもちろん、表現の工夫や言葉遣いも独特で印象的ですので、ぜひ、楽しんで読んでみてください。

そして、特に感じたことや、面白いと思ったこと、疑問に思ったこと、印象に残ったせりふや場面などについて、200文字〜300文字で文章に書いてみましょう。頭の中で考えたことを整理して、必要なことを選び取り、ほかの人にもわかるように書いてください。考えたことを「しっかりとした形にする」ことの練習です。13日（水）に配布した封筒の中に入っている原稿用紙に書きましょう。

また、配布した「国語便覧」の中に、宮沢賢治について、解説したページがあります。探して読んでみましょう。宮沢賢治はどんな人だったのか、どんな作品を書いた人なのか、知っておきましょう。そして、もしできるなら、宮沢健二の作品をいくつか読んでほしいと思います。

学校が始まったら、どんな本を読んだか、感想を聞かせてください。

*13日（水）にお配りした封筒の中に、百人一首の冊子を入れておきました。来週の課題には入っていませんが、冊子の中に書いてある取り組み方をよく読んで、国語便覧を併読しながら、ぜひ興味を持って、音読、暗唱、歌の意味を味わうなどしてみてください。